



京大病院 リスクマネージャーのみなさま、こんにちは。
本年度の ISO の品質目標「安全・安心な医療を達成するためのより確実な
情報共有」を医療安全管理室も目指しています。
科内や部署内でこのメールマガジンも共有いただければと思います。

項目：

1. 患者さんとの情報共有(インフォームド・コンセント)
2. 退院や転院時の適切な引継ぎが患者安全につながります

1. 患者さんとの情報共有(インフォームド・コンセント:IC)

医療安全管理室は、患者さんに IC に関するアンケートを行っています。
これは、患者さんの IC に関する満足度を調査し、医療の質の向上に
つなげる目的で実施しています。2020 年度9月から3月まで、患者さん
から寄せられた自由記載をご紹介します。
最初の2つは、高評価のご意見です。
次の3つは、改善につながるご意見です。

「同意書記載まで、2回に説明を分けて下さったので助かりました。
1回目で大きなリスクと概要、2回目で具体的なスケジュールといった
流れでした。リスクの話が1番受け入れるのに時間のかかる点なので、
最初に話して下さることで、同意書記載時には前向きな気持ちで治療
に向きあうことができました。」

「看護師さんにも同席して頂けて大変よかったです。病気についても
詳しく教えて下さり精神面の悩みにも耳を傾けて頂けて頑張ろうという
気持ちが起こり少し元気になれました。ありがとうございました。」

「今回手術は初めての経験でしたが、こういう話は入院前(手術が決定

する前)に聞けたら良いように思いました。(今回のインフォームド
コンセントで迷いが生じたという意味ではありません)。
このタイミングでは選択の余地がほぼ無いと思うので。」

「これから先、ずっとこの治療を続けていくことにすごく不安！！
体力(免疫力)等を回数を重ねて続けていくことによって
どんどん自分の命をちぢめていくのではないか。
ガン細胞が小さく(縮小?)してきたら、そんなにいつまでも
強い点滴は必要なのか？体力のことも一番に考えてほしい！」

「コロナで家族とも一緒に居られず、病室にも入れないなか、
先生のお話があるからと少しエレベーターホールで待つように
言われ待っていた。『1時間』少しとは？30分、1時間待つように
始めから言うてほしい。まだか、まだかと待つ家族のことも
考えてほしいと願います！！」

患者さんとの共通のゴール設定ができていないこと、
約束した面談時間に遅れるということについて、
改善を求めのご意見をいただいています。

2. 退院や転院時の適切な引継ぎが患者安全につながります

退院療養計画書：

自宅での療養で心がける点、今後の治療計画(外来通院の頻度等)
を患者個別に書いてください。入院期間が短縮される中で、
術後の遅発性の合併症が退院後に出現することがあります。
患者さんがその症状を知っていたら、速やかな受診につながり、
深刻な事態を回避できたかもしれない、と思う事例が過去にありました。

転院時の診療情報提供書：

転院時も同様です。情報が多すぎて、重要事項が埋もれてしまう
ことがあります。入院中に懸念している事項があり、
転院後にも注意して観察してほしいことがあれば、
見落とし(読み飛ばし)がないように、分かりやすい記載をお願いします。

重要事項は冒頭に、項目の見出しを付ける、工夫することも有効と思います。

情報が少なすぎる場合もあります。転院時に、検査データの添付がなく、
転院先で困ることがあります。留置物の情報がないことがあります。

併診していた診療科からの情報がない場合もあります。

患者さんに安全・安心な医療を提供するために、転院先への情報の
伝え方について、これで十分かな？という目で、ご確認ください。

医師、看護師、薬剤師の皆様は、ぜひ、よろしくお願いいたします。

今回は、「本年度の品質目標:情報共有」について、お伝えしました

…一京大病院 医療安全管理室ホームページはこちら ……

トップページ <https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~wwwrisk/index.html>

このメールは京大病院リスクマネージャーにお届けしています。

【お問い合わせ等】

京大病院 医療安全管理室

内線 4694

京大病院 リスクマネージャーのみなさま、こんにちは。

本年度の ISO の品質目標「安全・安心な医療を達成するためのより確実な
情報共有」を医療安全管理室も目指しています。

科内や部署内でこのメールマガジンも共有いただければと思います。